

■夢の実現へ リニア中央新幹線 82

- ・ 工事実施計画（その2）が認可されました
- ・ 瀬戸トンネル新設の発注予定が公表されました
- ・ 岐阜県都市整備協会中津川事務所が開設されました
- ・ ラッピングトラックの出発式が行われました

「リニア中央新幹線」計画についてシリーズでお伝えしています。

今月は、中央新幹線品川・名古屋間工事実施計画（その2）の認可ほかについてお伝えします。

問 リニア対策課（☎内線215）

中央新幹線品川・名古屋間の工事実施計画（その2）認可

国土交通省は、JR東海が平成29年9月25日に認可申請した中央新幹線品川・名古屋間の工事実施計画（その2）について、平成30年3月2日付けで認可しました。

工事実施計画（その1）（用地、土木構造物関係等）は平成26年10月17日に認可されており、今回認可された工事実施計画（その2）では、電力設備や運行管理システム等の電気関係設備の整備などが工事実施計画に追加されました。

また、土木工事について、設計検

討及び調査の深度化、協議の進捗に伴い、既に認可を受けた路線断面図等も変更されました。車両、駅設備等については、今後工事内容が確定した段階で、認可申請される予定です。

詳しくは国土交通省ホームページ（☎http://www.mlit.go.jp/re

port/press/tetsudo09_hh_000056.html）をご覧ください。



中央新幹線瀬戸トンネル新設の発注予定公表

JR東海は平成30年2月23日に公募競争見積方式（参加資格要件付）による中央新幹線瀬戸トンネル新設工事の発注予定を公表しました。

この工事は、中津川市瀬戸付近を施行区域としたトンネル工事（本線トンネル（約4.4キロ）、非常口（斜坑）等を含む）で、工期は平成38年6月30日までの予定です。

詳しくはJR東海のホームページをご覧ください。

（☎http://company.jr-cent ral.co.jp/company/others/ construction.html ※掲載は5月11日まで）



岐阜県都市整備協会 中津川事務所開設

中津川市ではリニア中央新幹線の開業に向けて、リニア岐阜県駅周辺地区で市施行による土地区画整理事業を進めています。

昨年に県知事から事業認可を受けて事業が本格化する中、市の業務委託先である「公益社団法人岐阜県都市整備協会」が中津川事務所をリニア推進坂本事務所内に開設しました。

4月2日に開所式を行い、暖かい春の日差しの中、協会の河合専務理事と市の山本リニア都市政策部長が事務所看板を設置しました。

今後も地元のご意見を伺いながら、



開所式の様子

市と協会が協力して事業を円滑に進めてまいります。

リニアラッピングトラック 出発式

4月4日、中津川商工会議所において、リニアラッピングトラックの出発式が行われました。

トラックへのラッピングは、岐阜県東美濃地域およびリニア中央新幹線を県内外へ広くPRすることを目的に東濃東部リニア停車駅誘致期成同盟会（会長・杉本潤中津川商工会議所会頭）が企画し、中央紙運輸株式会社（中津川市千旦林）の協力を得て製作されました。

車両の側面には中津川市、恵那市の風景をバックに走行するリニアがプリントされており、トラックが全国各地を走行することで、当地域の知名度向上が期待されます。



出発式の様子